

AI 活用に前向きなベトナム EC 業者の実態

2025 年 4 月 22 日 作成

カテゴリー ベトナム経済 EC

AI 活用に前向きなベトナム EC 業者の実態

Lazada と Kantar による最新調査によれば、ベトナムを含む東南アジア 6 カ国の 1,200 名超の EC 事業者を対象に、AI 導入状況と認識の実態が明らかとなった。ベトナムの EC 事業者の 77% が AI に関して理解があると回答し、これは地域平均を上回っているが、実際の AI 活用率は 42%にとどまり、自己認識の 53%と乖離が見られる。AI 活用が進む分野は顧客対応、マーケティング、メディア分野に集中しており、バックオフィス業務やロジスティクス分野では遅れている。

ベトナムでは AI の生産性向上に対する期待は非常に高く（94%が肯定）、導入コストへの懸念も比較的少ない（35%）。しかし、実際の導入には課題も多く、75%の事業者が従業員が既存のツールに固執していると認識している。特にベトナムでは、AI 活用に関心を持ちつつも一部導入にとどまる層が 64%と、地域平均の 50%を上回っている。

一方で、AI に精通した事業者の割合は 22%と平均よりやや低い。これらの結果は、ベトナム国内において AI の重要性が認識されつつも、実装に向けた支援や人材育成が必要であることを示している。今後、AI の実用的導入を後押しするためには、教育・トレーニング環境の整備が不可欠である。

以上